

# 磐城時報

編輯人 岡田弘成  
印刷所 磐城時報社  
電話 一四七五  
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元  
廣告料 一行一十字一日五銭 五日十銭 十日二十銭 一月四十銭 三月九十銭 半年一百八十銭 一年三百六十銭  
印刷部 印刷所 磐城時報社  
電話 一四七五  
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元  
廣告料 一行一十字一日五銭 五日十銭 十日二十銭 一月四十銭 三月九十銭 半年一百八十銭 一年三百六十銭

## 熱狂的歡迎裡に 中等野球近くづ

### 豫期以上の接戦を演ぜん 各中學校の選手名

本社主催第二回縣下中等學校野球大會は昨年度の優勝校磐城中等學校を始め安積、田村、双葉、相馬の五中學校が参加する事となり、来る二十一日、二十二日の大會を控へて各校共猛烈な練習を續けてゐたから大會當日は豫期以上の大接戦を演じ地方野球ファンをして熱狂せしむるであらうと今から察せられてゐる。各校選手は何れも二十一日中に來平、住吉屋本店に投宿する筈である、各校選手左の如し。

- ▲磐城中學校  
投手、菅野三郎、佐藤芳雄  
捕手、阿部藤男、布谷敏雄  
一壘、大平道美  
二壘、吉田信雄  
三壘、小野一雄  
遊撃、朝妻一治  
左翼、佐藤弘  
中翼、大越重義  
右翼、大越重義、下山田勇
- ▲双葉中學校  
投手、渡邊 助  
捕手、中里範清  
一壘、新工 敏  
二壘、太田秀武  
三壘、宇佐美 武  
遊撃、川村成一  
左翼、井上義美  
中翼、光家定喜  
右翼、今村米雄

## 平町上水道の 反對運動打切り

### 野崎氏等の主張貫徹し かくして舉町一致が實現した

永らく猛烈な反對を續けてゐた付されてから反對するとせば、平町上水道擴張案も遂に内務省平町財政の窮乏を暴露する計りを通し目下大藏省の手により將來町發展の上に悪影響をおよぼすこととなり、反對派の六町議、野崎滿藏、馬目雅治、佐藤岩次郎、武田元之助、永山富廣、柳下元吉の諸氏、は反對の理由とするところ、前記六町議の名を以て全町に對して打切りの聲明書を発表する事である、物價の下落しつゝある場合とて今後尙下落した時期また影響を齎すものと観られてゐる。

- ▲相馬中學校  
投手、遠藤 要、平井正三  
捕手、齋藤光夫、新妻章宏  
一壘、荒川 忠  
二壘、大友正人  
三壘、新妻文一  
遊撃、佐藤真夫  
左翼、杉岡誠見、増田 猛  
中翼、大井哲夫  
右翼、牛渡 稔
- ▲安積中學校  
投手、佐藤賢一、横井 正  
捕手、三村 弘  
一壘、萩原 仁  
二壘、末本勝彌  
三壘、高橋正太郎  
遊撃、近藤 實  
左翼、飯田義雄  
中翼、石田正胤  
右翼、佐藤東四郎  
捕手、宮本 正
- ▲田村中學校  
投手、秋田、坂本  
捕手、服部、石塚  
一壘、前川 清  
二壘、橋本 塚  
三壘、石塚 本(喜)  
遊撃、神田 冬  
左翼、坂本 冬  
中翼、新田 泉  
右翼、遠藤、馬 上

## 濱通りの銀行界 殆んど全部機能休止状態

### 現行法に抵触しないのは 僅かに磐城銀行一行のみ

現行銀行法による資本金は人口一萬以下の地域は五十萬以上、一萬以上の地域は一百萬圓以上(大正十四年國勢調査による)であるが、従来より存続してゐたものに對しては昭和七年末迄法定資本金の猶豫期間を與へてゐるが、本縣下の銀行界は茲に二年未會有の動搖を來し、殊に濱通りは本店銀行六行を有するが、現在實際上の機能を有し且現行法に抵触してゐないものは、植田町の株式會社磐東銀行、資本金五十萬圓あるのみで他は殆んど機能休止の状態にあり、若し期間内に合併せざる場合は解散せねばならぬ事となるので、單獨増資がゆるされないだけの地方關係から觀れば中小商工業者の金融の道が少くなるので甚だ遺憾とされ、五銀行は何れも幹部間に善後策を講せられてゐるが、財界は依然萎微してゐるだけ目下の處方針も定まらぬ有様で非常に悲觀されてゐる様である、たゞ地方金融の点から便法を講じて中小銀行と堅實なるものは存続せしめた方がよからうとの意見も相當強い様であるが、實質上から觀て濱通りには休業のものも多く合同の必要が充分あるだけ成り行きを注視されてゐる。

## 第二回中等學校野球大會

- 六月二十一日(土)午後二時より  
相馬中學 對 双葉中學
  - 六月二十二日(日)午前八時半より  
磐城中學 對 安積中學
  - 六月二十二日(日)午前十一時より  
田村中學 對 相、双の勝者
  - 六月二十二日(日)午後二時より  
決 勝 戰
- 選手入場式 六月二十二日午前八時  
選手宿舎 住吉屋本店  
主催 磐城時報社

## 半谷政喜君の所論を駁す

野崎 滿 藏

貴下の主幹發行する新しいわき第七十一號第一面に今回の請求町會は他に急なる舉動云々の題にて其記事「水利權問題から芝山技師の任用に關する」の長短及認可運動費の留職の反對陳情の禍が與つて力あるもので省みて恥を知り議員のあることは周知の事實である」と論断せられてある反對運動を爲した議員とは吾々同志六名を指すものであらう、吾々の反對に依り芝山技師、遠藤助、伏見町長、委員の出張費用の莫大なる町費負擔は吾々反對議員の責任に基くもので、恥を知れとの御議論の様である、町會議員

の任務は町村民多数の福利を念とし經濟問題を主とし、各般に互り利害得失を判断論議する事が最も責任の大なる要點である。

吾々の反對運動は三名にて内務省に二回、縣土木課長の仲裁に依り出訴する事二回、何れも日歸りである、陳情書は五回提出したが全部郵便で發送した。

六名の少数意見を以て僅か二回の日歸りの運動に對抗すべく町理事者が三ヶ月間も事務を放擲して内務省に詰切り膝詰め運動、即ち半面陋劣なる運動をせねば許可覺束なしと稿を改めて論難する事とする

## 磐城体育大會

けふ高坂礦で  
石城郡内鄉村磐城炭礦健康保險組合員の体育大會は十八日午前九時から同村高坂礦グラウンド事に至らんとするを附近の人々に開催、陸上十種競技を行ふ等、駆け付け消したるが、同町目抜の場所柄として一時は中々の騒ぎであつた、原因は石油コンロに原町太之助町中森洋服店より十火が移り爆發したる爲めである

### 郡農會員と詐稱し 七十圓の牛を騙取す

石城郡赤井村大字農和仙吉なつたので昨年などは東京、横(二八)方に去月二十五日正午頃、山形、秋田地方より熊々來四十才前後の男が来り自分は平觀する逐年其數を増し、宿屋の町石城郡農會畜産係りの者だが如きは何れも満員で他は素人宿君の家を馬と取りかへてやに宿泊する者多くなつて来たが、種白黒ブチ牝一頭價格約七十圓組合大會、縣下大町大會、鈴木を持ち出した者があつたが右の盆裁大會、東京封切新音譜レコ男はその後馬を連れて來るといふ大會等、亦原町櫻工藝研究ろか何の音沙汰ないので仙吉は會主催にて七月十一、十二、十漸く不審を抱き十七日午前十時三日の三日間相馬特有の櫻材を半郡農會事務所につねて來たてて製造せる家具其他の林産物とこゝろ真赤な嘘と判明、詐欺に工藝展覽會を催す事となり出品かゝつたことがわかつたので仙申込は六月末日迄同研究會に申吉は警察に訴へることにして、出らるべしと。

鼻の薬「チクノール」  
平五 山野邊藥局

### 原町通信

#### 相馬地方の蕪況

相馬郡下一齊に蕪の出廻りは茲兩日中なるも現今の相場を見るに白蕪は最高四十圓、最低は三十七八圓見當、又黄蕪は最高三十七圓、最低は三十三圓見當の由なるが勿論相場は其日限りなれば之れを以て値段は固定したるものとは言はれぬが、以上の相場より見て賣買する時は地方農家の疲弊一層甚となり一般の人氣引立たず、各種營業家にも波及して倒産するもの續出せんと何れも人心恟々の体である。

▲櫻材加工品展覽會  
相馬野馬追は今や天下の有物と

### 磐城セメント 今期無配

磐城セメント會社では十六日丸内本社に重役會を開き左記当期利益金處分案無配を査定、來る廿一日午前十時から丸の内生命保險協會に開催の定時總會に附議する筈(單位千圓)

利益金	三期	前期
固定資産減	三〇〇	八三
償還金	二〇〇	二五
前期繰越金	二〇〇	二五
合計	二〇〇	二五
法定積立金	六〇	六〇
別途積立金	六〇	六〇
役員及使用者退職慰勞基金	六〇	六〇
役員賞與金	一〇	一〇
株主配當金	一〇	一〇
後期繰越金	三〇	三〇

### 廿日替り

老人も 一度は必らず  
婦人も 見て下さい  
少年も 見て下さい  
斯界に誇る堂々たる巨篇  
マキノ超々特作  
カントク總出競演  
天保時代 學生三代記  
明治時代 學生三代記  
昭和時代 學生三代記  
マキノ時代劇部現代劇部  
オールスター  
マキノ夏季特作  
谷崎十郎主演  
怪談 道中双六八  
土曜マキノ有聲座  
ヒル帝キネ  
次週 村上浪六原作  
公開 かまいたち

**腸胃** 内科 専門  
十二指腸 胃腸病 腸胃病  
婦人病 淋病 皮膚病  
**毒校** 皮膚病 専門  
院醫科 院醫科  
(七〇一話電) 町南町平

佛國マルソー會社元詰  
**生葡萄酒**  
マルソー・アランク・白 71.10  
マルソー・ルー・ジ・赤  
良品にして安價賣行飛ぶが如し  
**西村屋藥局**

**農服**  
輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。  
◆輕裝上衣 黒セル 4.20=、カシミヤ 10.00=、白直衣 1.60=、白ツボン 2.60=  
平二 ぶかや洋服店 203

◆十九日より開館十五週年  
第一回記念謝恩興行  
日活超々大作映畫 光岡龍三郎 酒井米子 主演  
**貝殻** 平  
第三篇より完結篇まで全部上映  
暗殺團、新撰組の兇及に大津邊りの街端に、砂なく散つて往くらしい、澤井轉を乗せた軍鶏籠は早や逢坂山を過ぎ、打出が濱の湖水の波は寒月を湛へてその血煙りをまつてゐる。  
特作現代劇 栗島すみ子 主演  
**愛人**  
林長二郎主演  
さんご時雨  
松日活 平 館 電四六六  
あいはじめました

仕出し 鳥料理 初音  
電話二三六番

**氷販賣所 設置廣告**  
平町西部方面氷需要者に對し配達の迅速を期すため左記に第二販賣所を設置致候  
平町字紺屋町(古鍛冶町通り)  
電話八四二番 茗荷屋  
平製氷株式會社

**氷水開業廣告**  
氷水を相始めました、本年は左の如く値下げを斷行しましたから多少に不拘御用命御引立の程を願ひ上げます。  
水 八四 水あつき  
同いち 八四 同しらす  
同れもん 八四 同玉子水  
同おごう 八四 同ラムネ  
アイスクリーム 一ぱい 同  
あづきアイス 一ぱい 同  
ミルクアイス 一ぱい 同  
氷セイキ水 一ぱい 同  
御注文は電話三〇五番へ出前迅速  
平町字二丁目 藤市  
印刷物は………加納活版所

**氷水開始**  
例年の通り氷水始めました  
多少に不拘御用命御引立の程願ひ上げます  
ミルクセイキ 金二十錢  
アイスクリーム 金二十錢  
アツキアイス 金五錢  
其他氷種物一式  
出前迅速 平町一丁目 藤寅  
電話一四一番